

明野ふくろう便

明野中央病院広報誌 | 2006年7月号

当院の看護のワッフルティッキには、四季折々のたくさんの花が咲いています。一日花々のお世話をすべて病院ボランティアの方々の奉仕活動によるものです。

2階花日記より
当院の看護のワッフルティッキには、四季折々のたくさんの花が咲いています。一日花々のお世話をすべて病院ボランティアの方々の奉仕活動によるものです。

*テラスのお花がきれいですね。ボランティアの方の真のかかわりを花が咲かせて下さつて見る者の心がいやされます。(「あいがどう」と心ないおもみ申上げます) 右手の不自由な病人(夫)も、おじいさん(田舎の患者様)といつぱりお花の好きな患者様は、ゆづりながらお花を手に持つてお花を楽しんでいます。



ガーデニングボランティアの皆さん

くりやうべん、ひとりひとり、雨傘や傘を差しながら、お花をなめらかにうるおして本日のたのしさじて。朝が冷たい風してます。先生が水やりをしてます。先

生が水やりしなくていいと感じたら、痛みむづれもありませぬ。うれしいです。歩く練習のためにテラスまで来て、花にいやされました! メダカが花にいやされました! カエルが花にいやされました!

生が水やりしなくていいと感じたら、痛みむづれもありませぬ。うれしいです。歩く練習のためにテラスまで来て、花にいやされました! メダカが花にいやされました! カエルが花にいやされました!



ウッドデッキでおくつろぎください



花日記



訪問看護ステーション スタッフ
(当院2階ウッドデッキにて)



皆様のご支援と協力をお願い申し上げます。

「訪問看護ステーション・ふくろう」 8月1日オープン 訪問リハビリモード

対象になる方
・高齢者や障がいなどで医療を受け難い方
・医療や介護を受け難い方
・施設に通ひづらいため、近い方
・日常生活や医療生活にある方

サービス内容
●介護の処置・検査
●リハビリテーション科
●認知症の看護や精神心理的看護

お問い合わせ
●訪問看護ステーション
担当者様へ
（内線341-5050）
●営業時間
月曜日～金曜日 8時30分～17時30分
土曜日 8時30分～12時30分
日曜・祝日・年末年始は休業いたします。

INFORMATION

開院日	診療時間	医療費
月曜日～金曜日 午前8時～午後6時 土曜日 午前9時～正午 日曜日・祝日 休診	（参考：算定料金）	医療・介護を通じ、患者様の生活の質の向上に奉仕する

●患者様のために、家庭的な暮らし・医療・介護の実現に努めます
●患者様のために、地域の皆様が安心・利便される病院づくりに努めます
●患者様のために、患者様ひとりひとりの権利を尊重するように努めます
●患者様のために、たとむ医療・介護の向上に努めます
●患者様のために、地域の健康維持・保健の実現に努めます

地図



禁煙外来のお知らせ

本院で禁煙にチャレンジしたい方に禁煙・禁煙治療に公的医療保険が適用されるようになります。保険適用となるのは「禁煙治療の経験を有する医師がいる」「専用の検査機器を備えている」「禁煙治療の専門内が禁煙である」と一定の条件をクリアしている医療機関です。当院はこれらの条件を満たしており、積極的に禁煙治療に取り組んでいます。「わかつちやいるけど……」止めさせてください。

診察日	火曜日・木曜日 13:00～17:00 (予め電話にてご確認ください)
担当医	木下聰生(院長) 日本内科学会認定内科専門医 内分泌代謝科(内科) 専門医 日本医師会認定産業医

詳しくは、受付窓口にお問い合わせください。

治療は禁煙補助薬（ニコチン貼付薬）を1日1枚体に貼り、計画的に薬の量を減らしていくというもの。



禁煙

禁煙のリクエスト	禁煙開始	2週目	4週目	6週目	8週目	完全な禁煙へ
禁煙準備	禁 煙 実 行					禁煙継続
●禁煙理由 ●ニコチン依存度 ●禁煙開始日	●出現した離脱症状の確認 ●吸いたい気持ちをコントロールする方法 ●禁煙再開のきっかけとその対処法					●肥満予防の対処法 ●禁煙継続のコツ
		ニコチネル TTS30 4週間 標準スケジュール	ニコチネル TTS20 2週間	ニコチネル TTS10 2週間		完全な禁煙の維持へ
●ニコチン貼付薬を知る						



腰椎椎間板ヘルニアの治療成績

副院長 楠野外科 中村 英次郎

2004年1年間における当院にて腰椎椎間板ヘルニアに対するの頸椎手術（腰椎椎間板摘出術）を行った患者の中から、手術後お酉酉いただき、次の手づな結果を得ました。

対象：男性5名 女性15名 年齢：18歳～73歳 平均35歳 全く健康な状態を100点とし た場合、自覚症状（腰痛、しふれ）に関しては、手術前の評価が88点（「全く健康な状態」と評された）といふて、手術後は90点（「改善した」）といふて、腰部の運動能力に改善したといふて、「腰痛も治りました」といふて、日常生活に支障はないといふて、手術前より手術後は「腰痛」が「改善した」患者をも、回復の回復度で「手術して、とても良かった」と言つてしまつた。しかし、腰痛と歩行する力に困ったことは、腰痛が治ったことではないといふて、「日常生活も正常になりました」といふて、結果を説明いたします。

腰椎椎間板ヘルニアの発症には、腰椎椎間板が筋肉や神経の圧迫によって発症するため、理学療法士による腰筋の鍛錬が筋力やしづれについて詳細な講解があります。

手術前に手術後ともに腰筋の鍛錬を行つて、とても良かった」と言つてしまつたことは腰痛が治ったことではないといふて、「日常生活も正常になりました」といふて、結果を説明いたします。

手術方法	Micro-low法（精密手術鏡併用いた手術）(Casper法) 現在、国内外で広く行われている安全で安定した方法。
手術時間	40～90分
創 口	2.5cmほど
出 血	20～100g以下
手 術 後	翌日より歩行開始し、7～10日で抜糸。
退 院	手術後4～5日より可能であるが、平均的には手術後10～14日。退院は早期に可能であるが、仕事やスポーツへの復帰は、個人差もある考慮し慎重に対応。
手術に関しては、腰椎椎間板ヘルニアガイドラインに基づき慎重に適応を検討しており、診察や検査の結果、手術を希望されても他の方法を勧めることもございます。	

全スタッフによる巡回前のミーティング